

# 就職に関する意識調査 報告書

## 1. 調査の概要について

### (1) 調査の目的

幼児教育・保育の仕事を目指す方の意見を伺い、就職支援策の検討に活用していくことを目的として、就職に関する意識調査を実施した。

### (2) 調査の対象

県内指定保育士養成施設に在籍する令和元年度に最高学年の学生 1,172名

### (3) 調査期間

令和元年11月18日～令和元年12月13日

### (4) 調査方法

各指定保育士養成施設が学生に調査票配布、回収

### (5) 調査項目(アンケート様式については、別添のとおり)

- ・調査回答者のプロフィール
- ・県の事業の認知度
- ・卒業後の就職状況
- ・保育士等として就職予定の方の状況
- ・保育士等として就職しない理由

### (注)

保育士等とは、保育士、幼稚園教諭、保育教諭のことを言う。

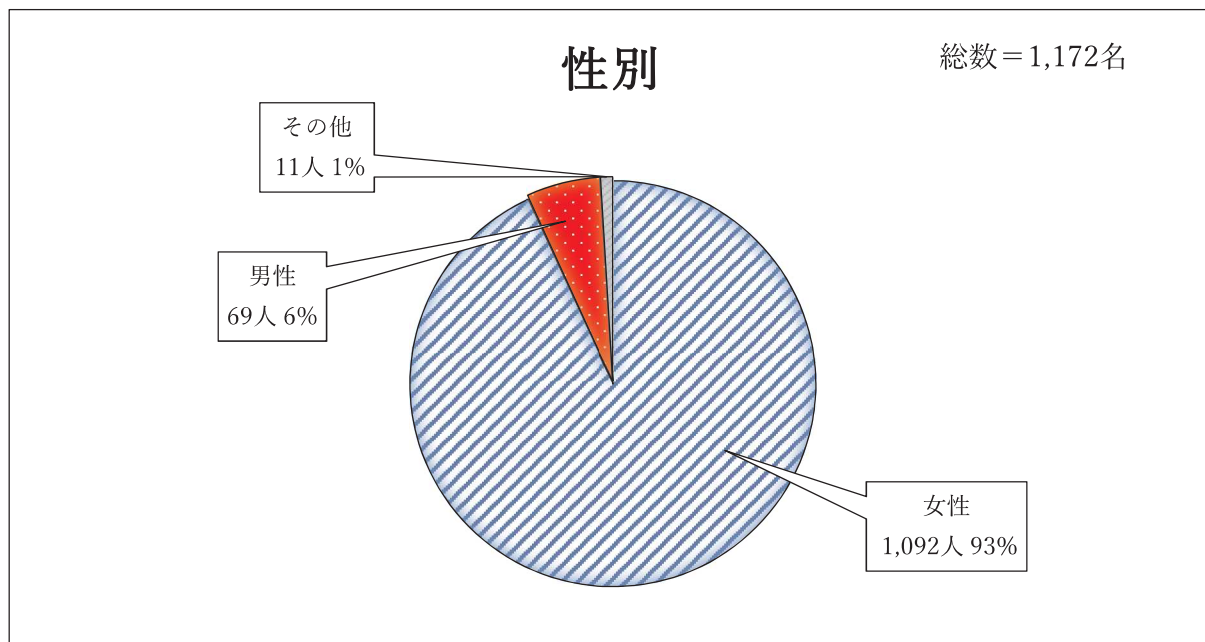


千葉県マスコットキャラクター  
「チーバくん」

## 2. 調査回答者のプロフィール、県の施策認知度、就職状況

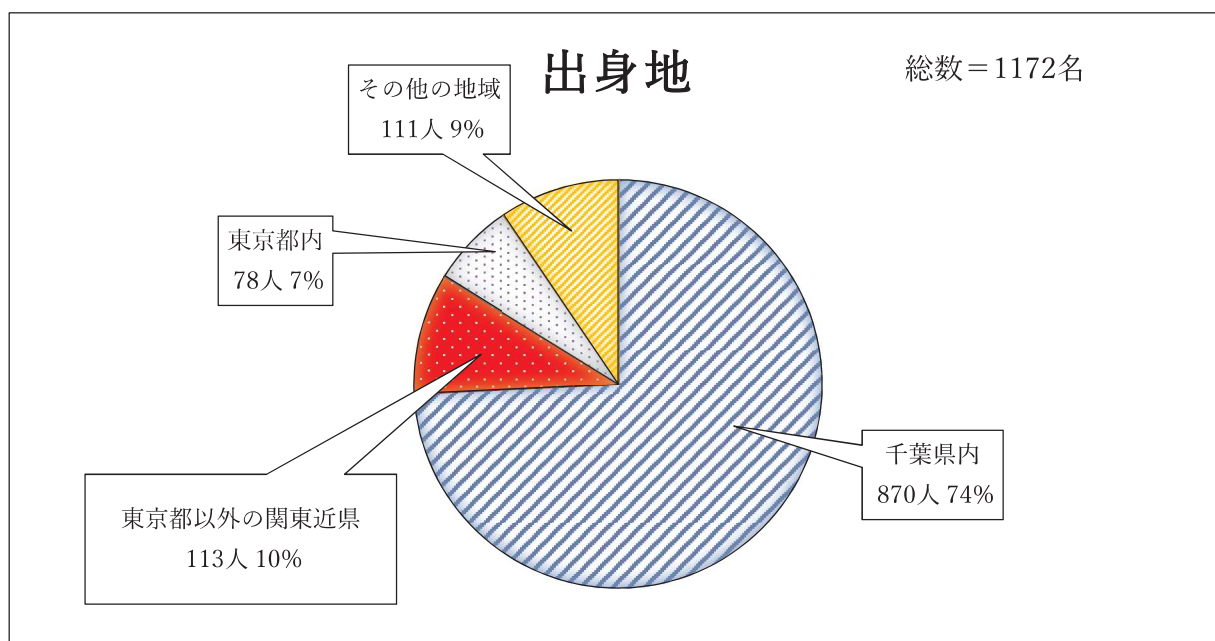
### (1) 性別

回答者の性別は、「女性」が93%を占めている。



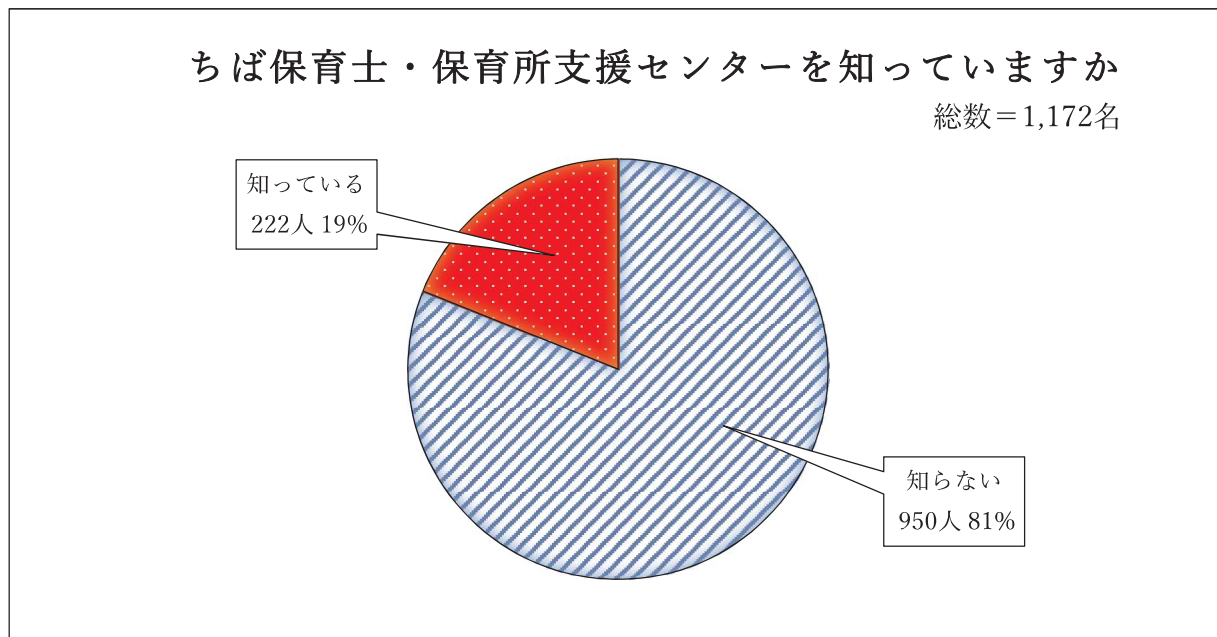
### (2) 出身地

回答者の出身地は、「千葉県内」が74%を占めている。



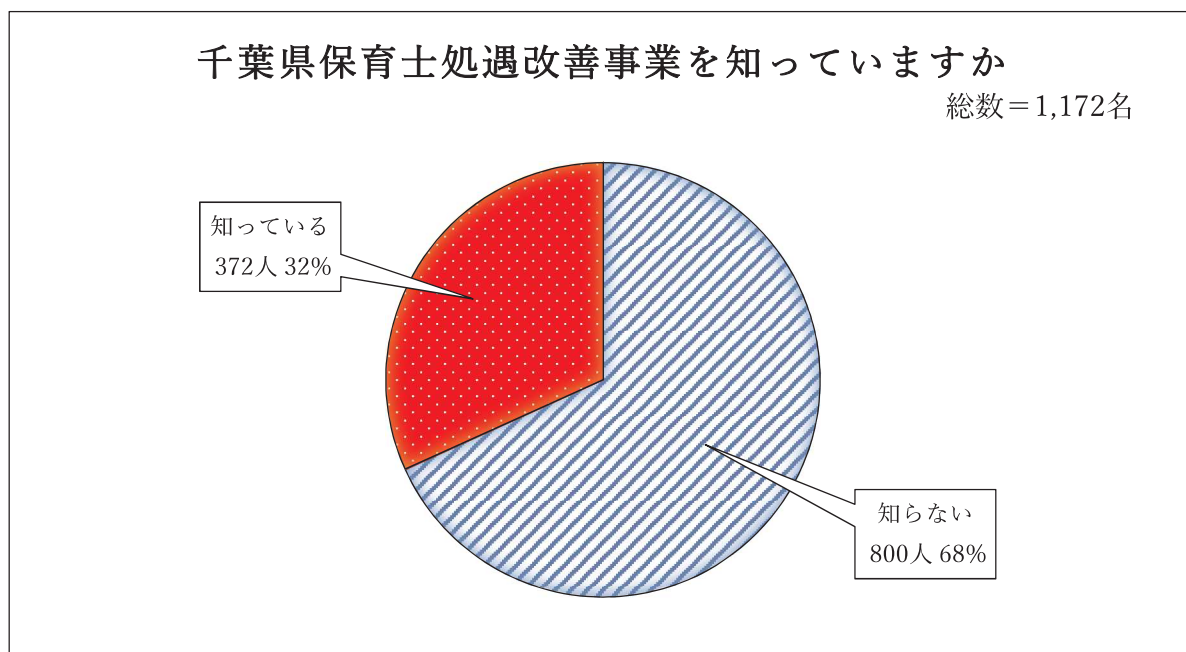
(3) 保育士・保育所支援センター

ちば保育士・保育所支援センターを「知っている」が 19%、「知らない」が 81%であった。



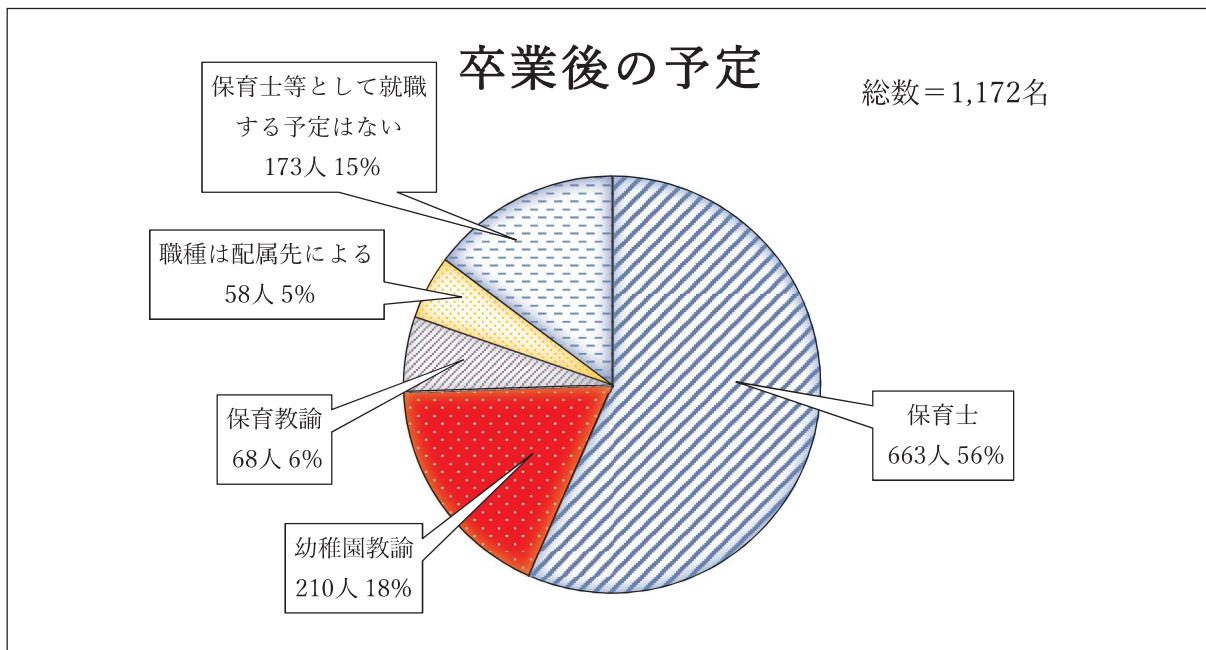
(4) 千葉県保育士処遇改善事業

千葉県独自事業の「千葉県保育士処遇改善事業」を「知っている」が 32%、「知らない」が 68%であった。



### (5) 卒業後の就職状況

卒業後、保育士等として就職するかについて、「保育士」として就職する予定が 56%、「幼稚園教諭」として就職する予定が 18%である一方、「保育士等として就職する予定はない」が 15%であった。

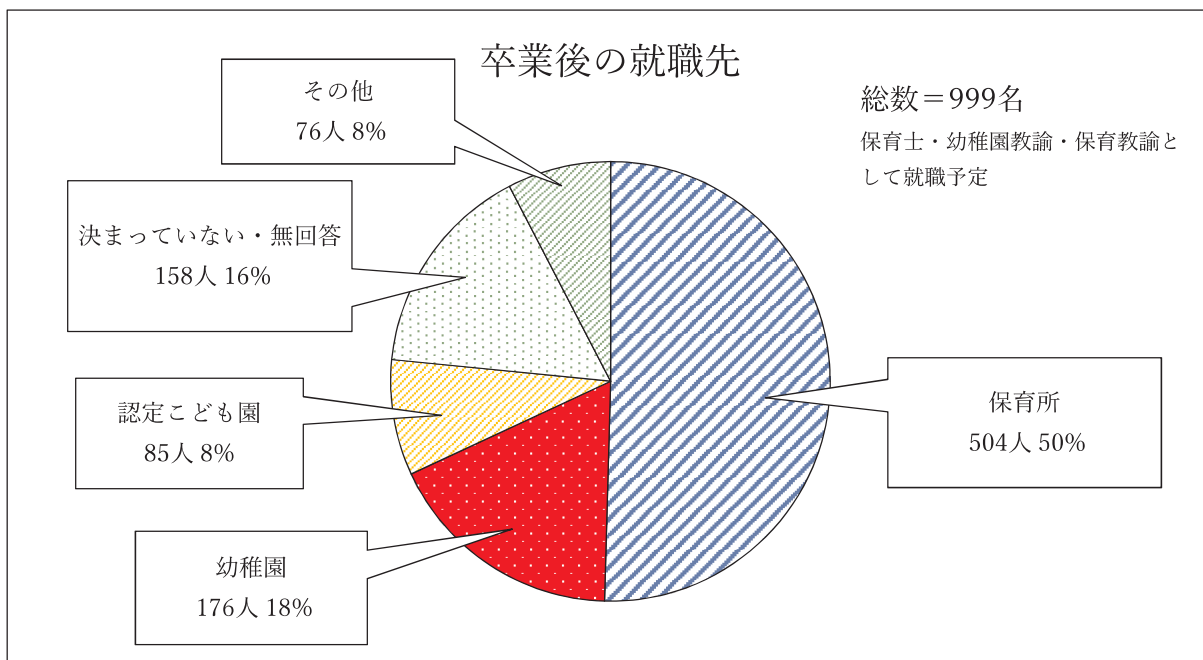


### 3. 保育士等としての就職状況

(保育士等として就職する予定の方への質問)

#### (6) 就職先

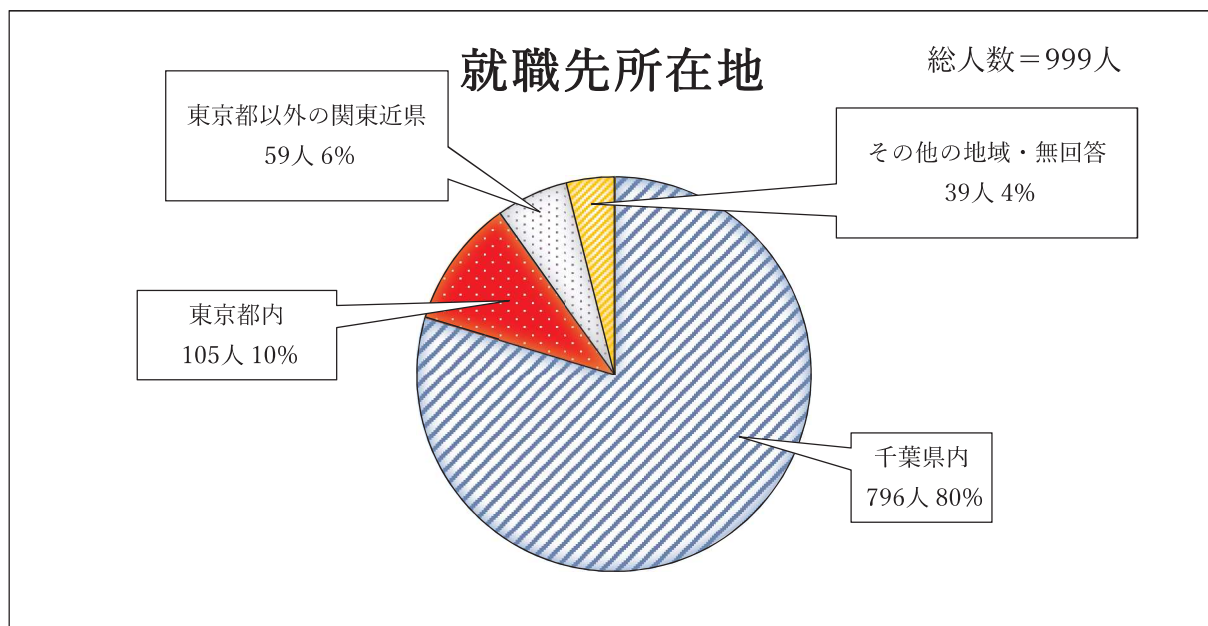
卒業後の就職(予定)先は、「保育所」が50%、「幼稚園」が18%、「認定こども園」が8%であった。



その他:児童養護施設、放課後デイサービス、障害児施設、乳児院、児童発達支援施設、託児所、療育施設、生活支援員、等  
※その他の中では、児童養護施設への就職が多い。

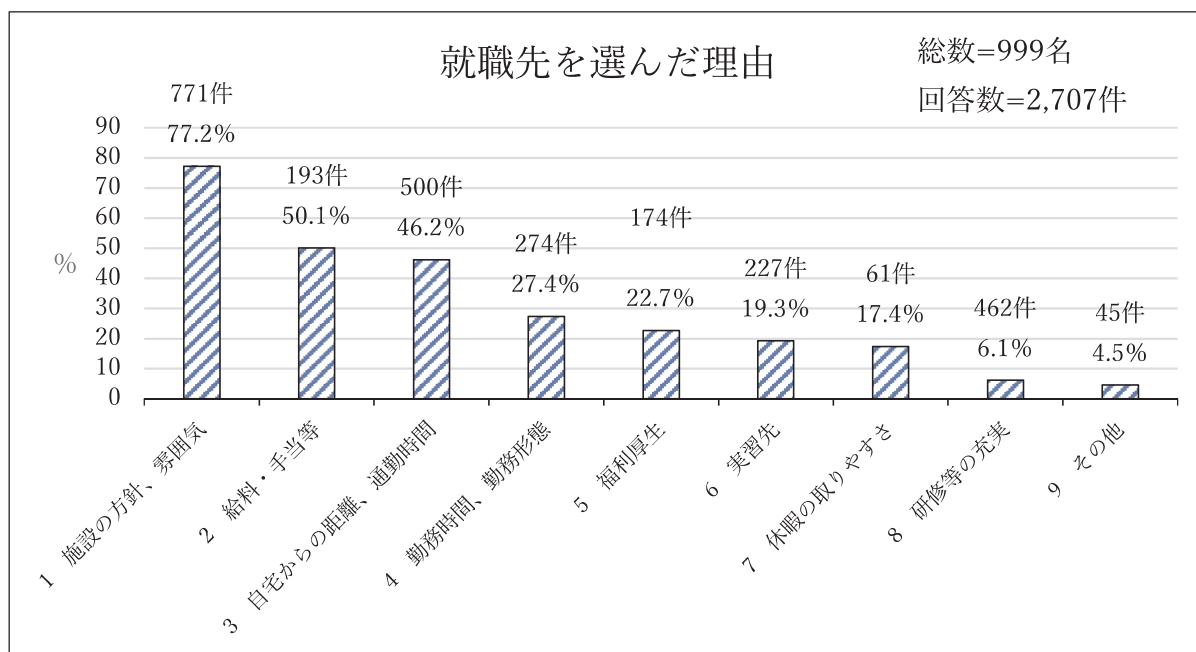
(7) 就職先所在地

就職先の所在地は、「千葉県内」が 80%を占めている。



(8) 就職先を選んだ理由(3つまでの複数回答)

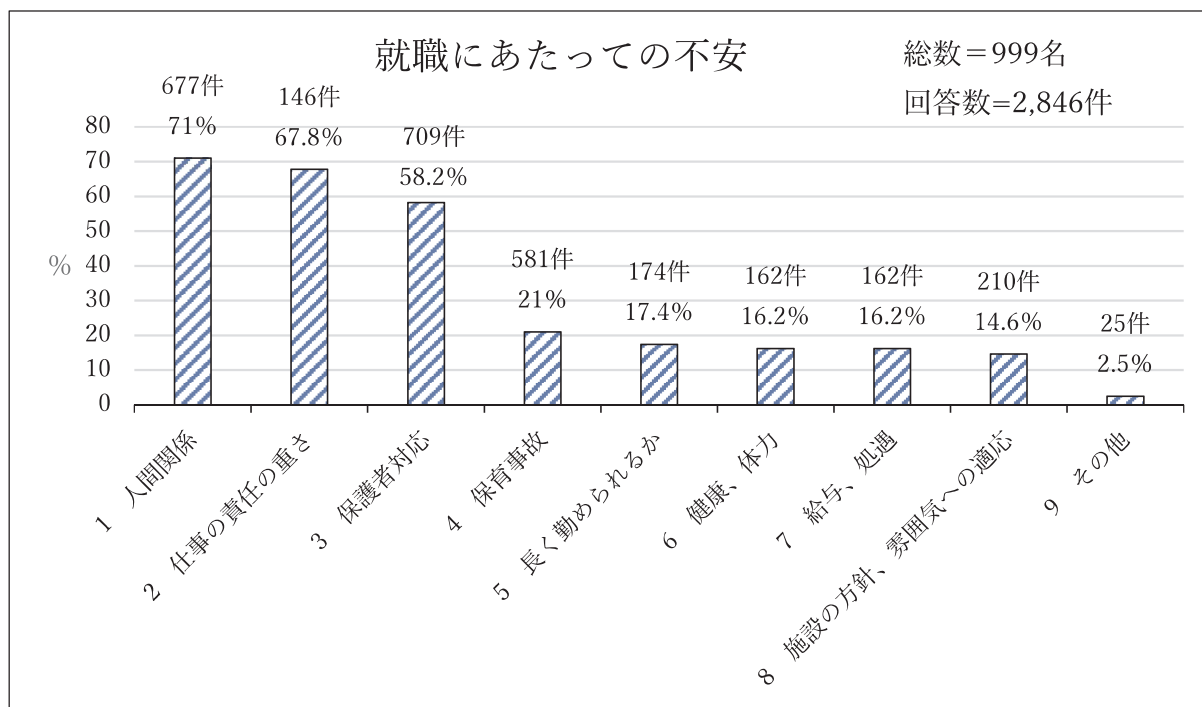
就職先を選んだ理由は、「施設の方針、雰囲気」が最も多く77.2%、次いで「給料・手当」が 50.1%、「自宅からの距離、通勤時間」が 46.2%となっている。



その他： 離職率の低さ、永年勤続者の多さ、施設が新しく綺麗、前から知っている施設、アットホーム感、かけてくれた言葉が優しかった、アルバイト先の保育園、職員同士の関係、自然の多い場所、園長の保育に対する姿勢、就職先は決まっていない、等

(9) 就職にあたっての不安なこと(3つまでの複数回答)

就職にあたっての不安なことは、「人間関係」が71%、「仕事の責任の重さ」が67.8%、「保護者対応」が58.2%となっていて、この3点を半数以上の方が選択している。



その他:一人暮らし、通勤、朝起きられるか、育児休暇のタイミング、休みが取れるか、等

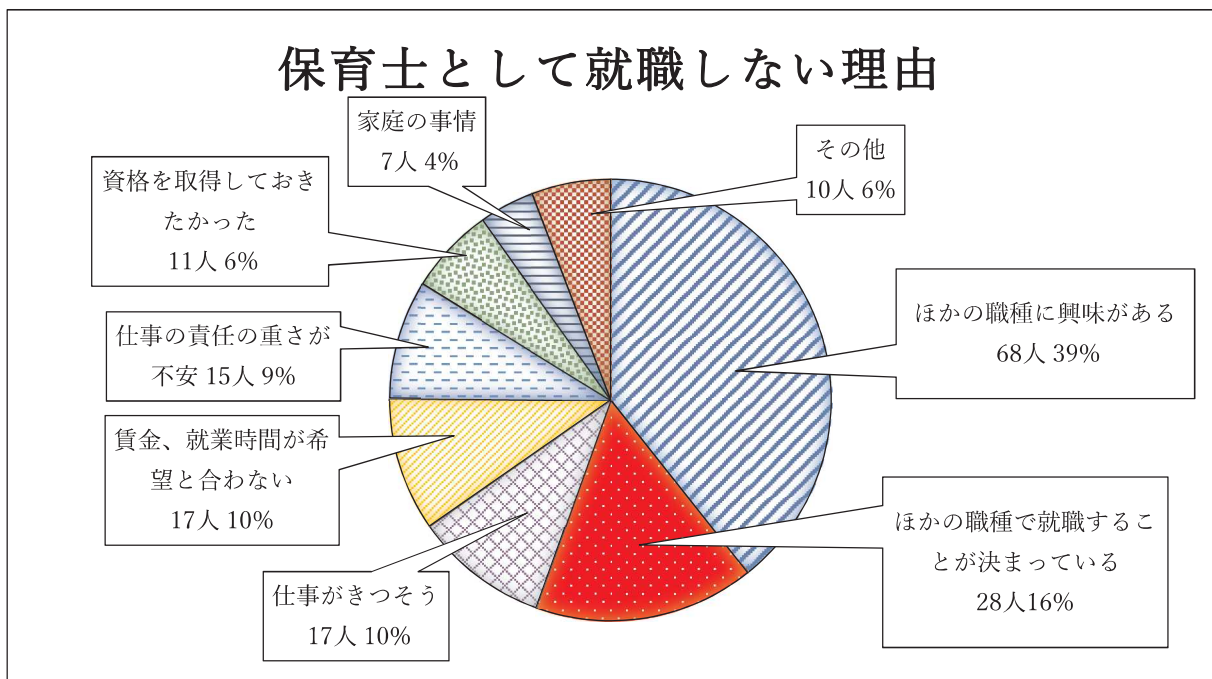


## 4. 保育士等として就職しない理由

(現在保育士として就職する予定のない方への質問)

### (10) 保育士等として就職しない理由

「ほかの職種に興味がある」が 39%、「ほかの職種で就職することが決まっている」が 16% となっている。また、「賃金、就業時間が希望と合わない」、「仕事がきつそう」がそれぞれ 10%となっている。



その他:自分の意思が固まっていない、責任を負えない、大変だから、等

## 5. 調査結果まとめ

保育士等として就職する方で、就職先を選んだ理由で最も多いのは「施設の方針、雰囲気」で、また、就職に当たっての不安なことでも上位を占めるのは人間関係や責任の重さという結果になり、いずれも、人間関係を重視しているおり、その不安を取り除くためのサポート体制を整備していく必要がある。

県としては、保育士として働きたいと思えるような環境づくりへの取り組みを強化していかなくてはならない。

また、保育士等の保育所等への就職を支援する「ちば保育士・保育所支援センター」の認知度が低い結果となっており、さらに周知を行うとともに、体制強化も行っていきたい。

調査に御協力いただき、ありがとうございました。

